



## 彼女は高校卒業後、6カ月間カナダに留学しました。

卒業生の声

### 英語は世界で一番きれいなものだった。

ビクトリーで英語を学習する以前は、ローマ字すら読めない書けないひどい状態でした。中1の頃の英語のテストは30点台でした。授業に出ていることと1年生だからということで、通知表の成績はギリギリ3でした。学校の授業では、先生が何を言っているのかすら分からないし英語は嫌いというよりも別次元の問題でした。大げさかもしれないけれど、世界で1番嫌いなものでした。数学もかなり苦手だけど、それ以上に生理的(?)に無理でした。

ビクトリーの先生は、どの教科でもいろいろな豆知識を教えてくださいました。私はそれに興味を持って調べました。それがとても楽しかった。先生がわかるまで教えてくれてうれしかったです。

学校の先生は、ただ教科書を読んでもらって感じだったけれど、塾の先生は私のわからないところまで戻ってくれてみっちり教えてくれました。先生とか教室の雰囲気やそのほかいろいろ塾自体が楽しいので、勉強もあまりというか全く苦にならなかつたです。パソコンで英語の発音が聞けることもよかったです。

私は自宅で前よりも復習するようになりました。英語はネットで「英語圏の人が日常でよく使うフレーズ」を見てお母さんと一緒に言い合ったりします。英語には関係のないことだけれどニュースも前と比べて見るようになりました。あと日本や他の国の歴史や最近の時事問題を題材とした漫画とかも見つかったり、参考書を探して買ってみたりしています。



母親の声

### 親もびっくり！ テストの点に鳥肌がたちました。

小学校のときからローマ字も書けない読めない状態でした。そのため中学校の最初の授業からついていけず、「英語が分からへん。先生が宇宙語しゃべってる。」と言っていました。5月頃、その状態からビクトリーで基礎から教えてもらい、1年後に成績が伸び始めました。子どもの性格を考えると個別が良いこと、少人数であること何よりも先生との信頼関係がないと成績は伸びなかったと思います。

- ① わからないところをわかるところまで戻って教えてくれる
- ② 勉強に関する豆知識を聴けるのが嬉しい
- ③ 先生ができたことを褒めてくれる
- ④ 何より先生2人が大好き

子どもは「先生が一生懸命教えてくれるから、それに応えたい。先生のために頑張りたい。」とよく言っています。そのために英語をがんばらないといけないと思っているようです。今は英語が大好きになり、先生から借りている地球儀を見ながら、いろんな国にも興味を持ち「留学やホームステイしたいな。」と言っています。そのためにも、英語をがんばらないといけないと思っているようです。多感な時期で、感受性が人一倍強いので、対人関係や学校の先生への不信感で体調を崩し、エネルギーを使い果たして、学校に行けなくなった時でも、塾だけは「行く。」と頑張ってくれました。子どもの興味を引き出し、勉強にエネルギーを向けるきっかけを作ったただきでした。本人の頑張りももちろんですが、信頼できる先生がいてくれるだけで、子どもには支えだったのだと思います。親もびっくり、英語の94点は鳥肌が立ちました。こんなに急に伸びるものなんですね。子どもの可能性は無限だと感じました。最近では、家で英単語が飛び交う会話をしています。先生との出会いに感謝です。